

MTJ

オーディオ総合月刊誌
無線と実験
AUDIO TECHNOLOGY

2012

6

No.1072

オリジナル サウンドシステムの製作

42プッシュプルパワーアンプ

815パラシングルパワーアンプ

KT66pp+6G-B8pp 2チャンネルパワーアンプ

電流伝送D/Aコンバーター

半導体DCラインコントロールアンプ

NF型デバイダーの設計



【特集】オーディオアクセサリの研究

LINE&パワーケーブル 10機種を聴く

連載

ハードウェアの変遷にみる
オーディオメーカーの歴史

スピーカー技術の100年

小型スピーカーの設計と製作

直して使う古いオーディオ機器

デジタルオーディオのキーデバイス

シンプルでスタイリッシュな MMカートリッジ付きアナログプレーヤー

MJ

ZOOMUP



クリアオーディオ Concept

¥207,900 (MMパッケージ)

● 新たなデザインを纏った ● エントリー機

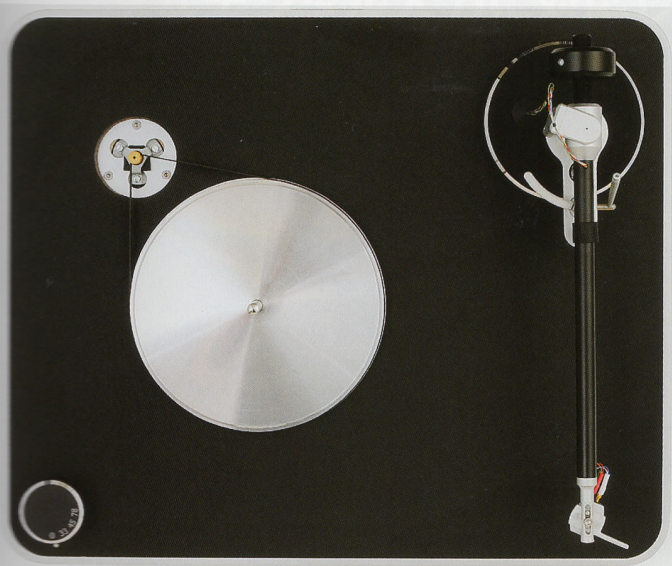
クリアオーディオは世界的にも最大級の規模を誇るドイツのアナログオーディオ機器メーカーである。ターンテーブルからトーンアーム、カートリッジまで多彩なラインアップを持ち、総合的な品揃えという点では他の追随を許さないところがある。このため製品数も非常に多く、そのすべてがわが国に輸入されているわけではない。また実際、超高額なハイエンドモデルなど、日本の一般家庭では実用的にどうかと思われるモデルも少なくはなく、当然そうしたものは取り扱い対象から除外されてきたようだ。

輸入業務は昨年から、これまでのハインツ&カンパニーから、英国EAR&ヨシノ社を母体とするヨシノトレーディングに移行している。取り扱い製品も少しずつ整理されているようだが、そうした中で注目を集めているのが本機Conceptである。

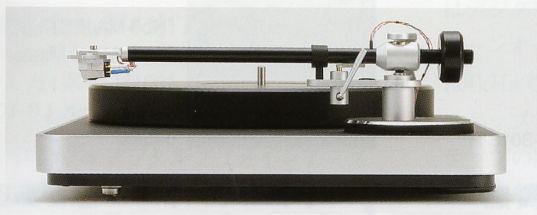
Conceptは、クリアオーディオとしても新機軸とあっていい。もともとエントリークラスにも製品は

多いが、いずれもアクリルを基調とした軽快なイメージのデザインが特徴となってきた。これに対して本機ではベースにMDFを使用し、アルミ削り出しのフレームをはめ込んだ新しいデザインが採用されている。コントラストのはっきりした外観と、レゾナンス抑制を指向した設計である。また表面にはPOM（ポリオキシメチレン）がコーティングされ、固有共振をいっそう低減している。メカニズムがむき出しになったスケルトンタイプではなく、ベース内に機構を収めたボックス型であることも、落ち着いた雰囲気を生み出している。

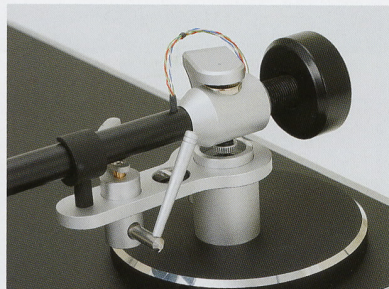
ターンテーブルもやはりPOM製である。厚さは30mmで、重量級というわけではないが、叩いてもそれほど振動は感じない。これはサブプラッターとの組み合わせによって、効果的に共振を抑制しているためと考えられる。駆動はこのサブプラッターに平型のベルトを掛け、すぐ側に置かれたモーターで行う。回転数が78回転まで用意されているのが興味深い。シャフトはポリッシュ仕上げの強化スチール。ベアリングは強化ブロンズにテフロンのみラーコーティングが施されている。



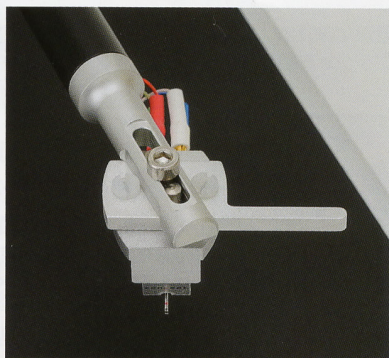
ゴムベルトを介して、サブプラッターの直近に配置されたモーターにより駆動する。回転数は33・1/3、45に加え、78rpmも選択できる



メインプラッターは樹脂製だが、充分な厚みがあり、振動対策にも配慮されている



トーンアームは強力なマグネットにより、宙に浮いた状態で安定している



ヘッドシェルにカートリッジを取り付け、オフセット角を与えてネジ1本でアームに固定

■ アームはマグネットでフローティング

トーンアームはオリジナルの設計で、同社のVerifyというモデルをそのまま搭載している。最もベーシックな製品だが、フリクションフリーマグネットベアリングという新しいテクノロジーが採用された意欲作である。

マグネットベアリングというのはハウジング内にマグネットを備え、これとアームが引き付け合いながら、一方でテンションワイヤーの力によって浮いた状態を維持するというもので、フリクションフリーすなわち摩擦をほとんどゼロにまで低減することが可能となる仕組みである。

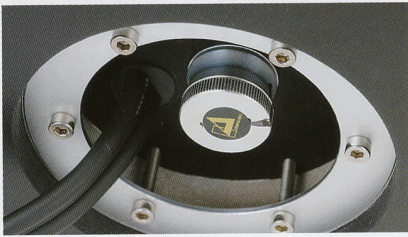
この機構のため、アームケーブルはアームパイプの付け根からいったん外へ出され、ハウジング内を避けて出力端子に接続される形となっている。アームパイプはカーボン製である。

このほかこのトーンアームには、垂直トラッキング角、アンチスキュー調整機能が付き、ヘッドシェルはオーバーハング調整も可能だ。もちろんスタティック・バランス型だが、エントリークラスとしては贅沢な装備といってい

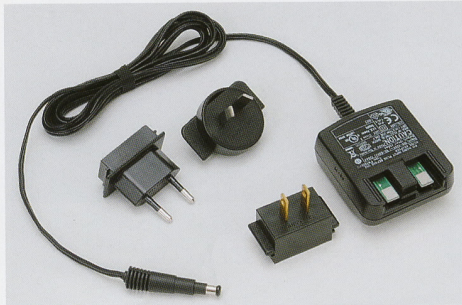
さらにカートリッジも付属する。本機専用設計されたMM型で、カンチレバーはアルミ製。ボディもアルミで形成されている。内容から見てオーラムクラシックをベースとしたものではないかと推測されるが、明確なことはわからない。針圧が2.2g標準とやや重めなのは、同社のMM型に共通した特徴である。

なおカートリッジはMC型も用意されている。やはり本機のために設計されたモデルで、MCパッケージとして270,900円で入手することができる。

(井上千岳)



アームベースの裏側には、インサイドフォースキャンセラーの調整ノブがある



電源はDC12V。ACアダプターは各国の使用に合わせプラグが交換できるもの



『J.S.BACH 協奏曲集』
ハルモニウムディ KUX-3018-H

● ディテールを引き出す高品位な質感

端正で緻密な音調を備え、エントリークラスを優に越えた仕上がりといっている。高低両端にはもう一回り伸びの欲しいところだが、これはカートリッジの限界というべきかもしれない。しかし静寂感が高く、余計な付帯音のない鳴り方は、きわめて信頼性に富んだものである。浮ついた感触がなく、一音一音を丹念に押さえて明確なディテールを引き出しているのが、ポテンシャルの高さといえる。

バロックの艶やかな弦楽器や小粋なオーボエの音色など、本来あるべき音が自然に出てくる。アンサンブルの精緻な鮮やかさも、把握力の確かさを物語るものである。またピアノは粒立ちがよく、骨格がくっきりとして透明度に優れている。ぼってりとした厚みはないが、低音部でもふやけず和音は強靱だ。

オーケストラは切れがよく、トゥッティでも音が荒れずニュアンスがきめ細かく捉えられている。コーラスは余韻の乗り方が自然で、声やオルガンの質感も締まって純度が高い。高品位な再現性である。

(井上千岳)

● 主な規格

MMカートリッジ

- 周波数特性：20Hz～20kHz
- 出力：3.3mV(1kHz, 5cm/s)
- チャンネルセパレーション：20dB以上(1kHz)
- 針圧：1.9～2.5g
- コイルインピーダンス：660Ω(1kHz)
- 負荷抵抗：47kΩ
- 負荷容量：100pF
- 重量：8.0g

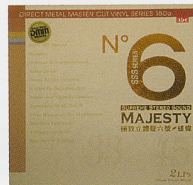
トーンアーム

- 対応カートリッジ重量：2.5～17g
- オーバーハング：17.31mm
- 有効長：9インチ(239.31mm)

ターンテーブル

- 回転：33・1/3, 45, 78rpm
- ワウフラッター：±0.04%
- 外形寸法：420W×140H×350Dmm
- 質量：7.5kg(トーンアーム&カートリッジ含む)

- 資料請求先：ヨシノトレーディング(株)MJ6係
〒443-0005愛知県蒲郡市水竹町上大塔49-1
TEL：050-3375-3975
<http://www.yoshinotrading.jp/>



『No.6 MAJESTY』
Direct Metal Master Cut Vinyl Series
180g盤
ABCレコード LP-101Construction
details

● パワフルでスケール感がある迫真音場

斬新な磁気吸引式フローティング軸受けを採用したトーンアームと、ポリアセタール(POM)樹脂ターンテーブルが印象的な独創性溢れるプレーヤーだ。本機はカウンターウエイトに針圧目盛りがないので、針圧計を常備しているアナログ経験豊富な人向けの製品なのだろう。

試聴は付属のMMカートリッジConcept MMを用い、針圧2gで行った。負荷抵抗は100kΩのほうがメリハリがあってスピード感があるが、ハイ上がりなので好みがかかれそう。いっぽう、メーカーが推奨する47kΩにすると非常にナチュラルかつパワフルな音になるので、Concept MMの負荷は47kΩが最適だ。このカートリッジは繊細さとパワフルさを兼ね備えたニュートラルな音の力作で、ホコリにも強い。

アームがフローティング軸受けのためか、エレキベースのようなパルシブな低音は音程が不明瞭になりがちだが、コントラバスやパイプオルガンはスケール感があって鳴りっぷりが良い。特に大編成オーケストラの迫真音場が印象的だ。(柴崎 功)